

2022年度決算 説明資料

2023年5月23日

 **朝日生命保険相互会社**

2022年度決算報告のポイント

＜朝日生命グループ※＞（※グループ：朝日生命+なないろ生命）

＜保険業績（新契約）＞

グループの保険業績（新契約）は341億円となり、コロナ禍でありましたが、前年度実績270億円を上回りました。

- ・うち朝日生命単体では、営業職員チャネルにおいて医療保険が伸展し202億円となりました。
- ・うちなないろ生命では、5月に発売した新商品が好調だったことから138億円となりました。

＜基礎利益＞

グループの基礎利益は63億円となり、前年度実績420億円を下回りました。

- ・うち朝日生命単体では、新型コロナウイルス感染症によるみなし入院給付金の増加およびヘッジコストの増加を主因として133億円となりました。
- ・うちなないろ生命では、開業から間もないため、新契約業績の伸展等に伴う事業費増加を主因として△69億円となりました。



朝日生命の主な取組みについて（トピックス）

「サステナビリティ経営」の推進

当社では、経営の基本理念「まごころの奉仕」のもと、生命保険会社の本業である「生命保険事業」および「資産運用」の両面において、持続可能な社会の実現に向けた取組みを推進しております。加えて、社会への責任を一層果たしていくため、脱炭素社会に向けた取組み、人財活躍、人権の尊重、上記以外の社会貢献活動も継続・発展させていきます。

- ・人権に関する国際的規範を反映するとともに朝日生命グループ全体としての人権尊重への取組みを推進すべく、「朝日生命グループ人権方針」を2023年4月に制定・公表しました。[（詳細はこちら）](#)

海外事業の拡大

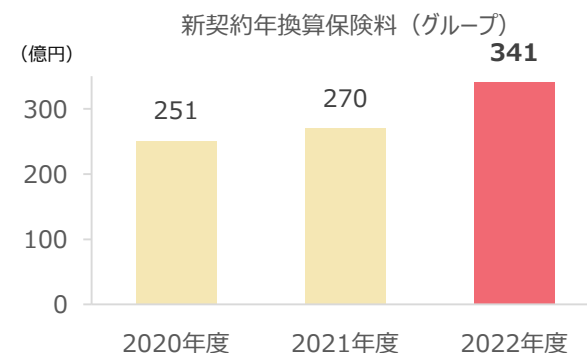
- ・2023年3月にベトナムに現地法人「朝日ライフコンサルティング・ベトナム」を設立し、4月より業務を開始しました。今後は現地法人を通じて、新たな提携先開拓の強化に加え、対面販売チャネルの構築などチャネル多角化を行い、さらにベトナム事業を拡大していきます。[（詳細はこちら）](#)

1. 業績の状況 [新契約・消滅] (個人保険・個人年金保険)

- ◆ 新契約年換算保険料(グループ)は、341億円となり前年度比126.4%と増加しました。うち第三分野についても302億円となり、前年度比130.5%と増加しました。
- ◆ 消滅契約年換算保険料(グループ) (解約+失効+減額-復活)は237億円となり、前年度比102.3%と増加しました。

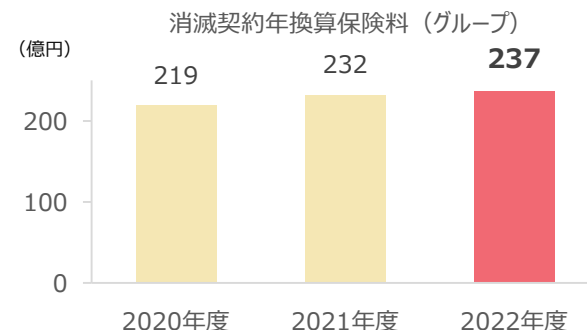
新契約の状況

区分	2020年度	2021年度	2022年度	
			前年度比	
新契約年換算保険料(グループ)	251億円	270億円	341億円	126.4%
うち 朝日生命※1	同上	232億円	202億円	—
うち なないろ生命※2	—	38億円	138億円	—
うち 第三分野	209億円	231億円	302億円	130.5%



消滅契約の状況

区分	2020年度	2021年度	2022年度	
			前年度比	
消滅契約年換算保険料 (グループ) (解約+失効+減額-復活)	219億円	232億円	237億円	102.3%
うち 解約・失効契約	204億円	217億円	222億円	102.4%
対年度始消滅率	4.14%	4.45%	4.65%	+0.19ポイント



※1 「うち朝日生命」の2020年度実績については、なないろ生命分社化前の代理店チャネルの実績を含みます。

2021年度実績については、9月までのなないろ生命分社化前の代理店チャネルの実績を含み、10月以降は含みません。これ以降の項目も同様です。

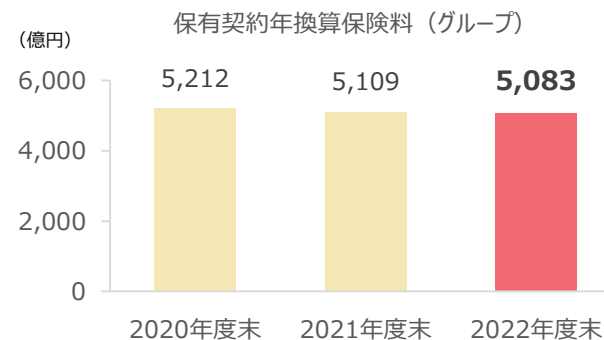
※2 「うちなないろ生命」の2021年度実績については、なないろ生命分社化後の10月以降の実績です。これ以降の項目も同様です。

1. 業績の状況〔保有〕(個人保険・個人年金保険)

- ◆ 保有契約年換算保険料(グループ)は、主に貯蓄性商品の保有減少により、5,083億円と前年度末比99.5%となりましたが、うち第三分野については2,401億円となり、前年度末比105.4%と増加しました。

保有契約の状況

区分	2020年度末	2021年度末	2022年度末	
			前年度末比	
保有契約年換算保険料(グループ)	5,212億円	5,109億円	5,083億円	99.5%
うち 朝日生命	同上	5,072億円	4,917億円	97.0%
うち なないろ生命	—	37億円	165億円	447.3%
うち 第三分野	2,214億円	2,277億円	2,401億円	105.4%

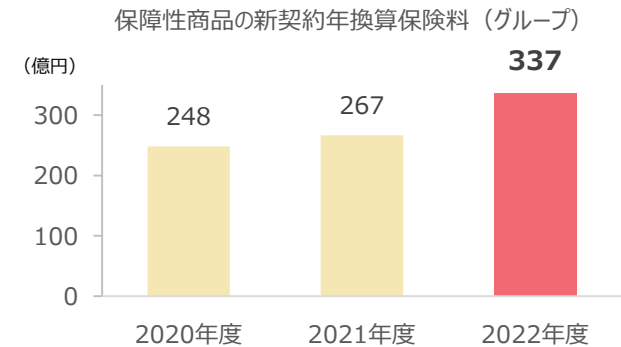


2. 保障性商品の業績の状況

- ◆ 保障性商品※¹の新契約年換算保険料(グループ)は、朝日生命の営業職員チャンネルにおける医療保険販売の伸展や、なないろ生命の5月に発売した新商品が好調だったことにより、337億円となり前年度比126.2%と増加しました。
- ◆ 保障性商品の保有契約年換算保険料(グループ)は、堅調な朝日生命の営業職員チャンネル業績、なないろ生命の好調を背景に、3,203億円となり前年度末差+104億円と増加しました。

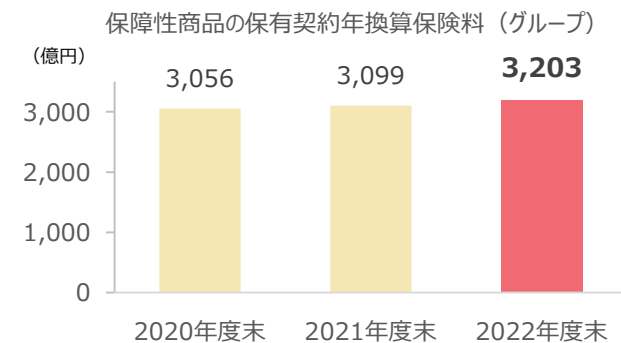
保障性商品の新契約の状況

区分	2020年度	2021年度	2022年度	
			前年度比	
新契約年換算保険料(グループ)	248億円	267億円	337億円	126.2%
うち 朝日生命	同上	229億円	199億円	—
うち 営業職員チャンネル※ ²	178億円	189億円	190億円	100.3%
うち なないろ生命	—	38億円	138億円	—



保障性商品の保有契約の状況

区分	2020年度末	2021年度末	2022年度末	
			前年度末差	
保有契約年換算保険料(グループ)	3,056億円	3,099億円	3,203億円	+104億円
うち 朝日生命	同上	3,061億円	3,037億円	△24億円
うち 営業職員チャンネル※ ²	2,828億円	2,831億円	2,833億円	+2億円
うち なないろ生命	—	37億円	165億円	+128億円



※¹ 保障性商品とは、貯蓄性商品を除く、死亡保障および医療保障・介護保障・代理店で販売している無配当団体医療保険等の第三分野の合計です。

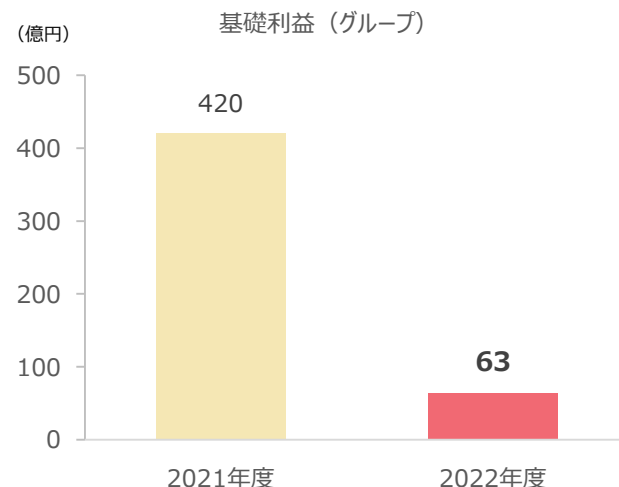
※² 営業職員チャンネルには、代理店経由での法人契約、デジタル商品を含みます。

3. 収支の状況

- ◆ 基礎利益(グループ)は63億円となり、前年度より356億円減少しました。
- ◆ うち朝日生命単体では、新型コロナウイルス感染症によるみなし入院給付金の増大により保険関係損益が前年差△222億円、ヘッジコストの増加を主因として利差損益が前年差△93億円となり、133億円と前年度実績を下回りました。
- ◆ うちなないろ生命では、開業から間もないため、新契約業績の伸展等に伴う事業費増加を主因として△69億円となりました。

基礎利益の状況

区分	2021年度	2022年度	
			対前年度増減
基礎利益(グループ)	420億円	63億円	△356億円
うち 朝日生命	449億円	133億円	△315億円
保険関係損益	764億円	542億円	△222億円
利差損益(逆ざや額)	△315億円	△408億円	△93億円
うち なないろ生命	△28億円	△69億円	△40億円



※ 2022年度より、為替に係るヘッジコストを算定に含めるなど、新しい定義に基づき基礎利益を算出いたしました。2021年度の数値についても同様の定義で算出しています。

<参考①>保険料等収入の状況

区分	2020年度	2021年度	2022年度	
				対前年度増減
保険料等収入(グループ)	3,914億円	3,954億円	4,187億円	+233億円

<参考②>経常利益・親会社に帰属する当期純剰余の状況

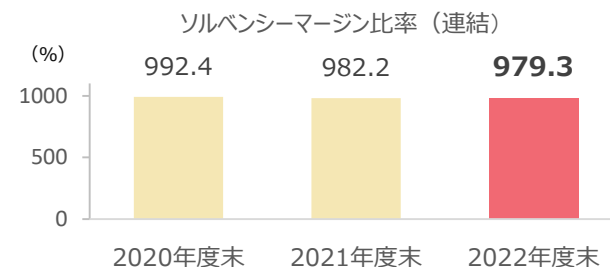
区分	2020年度	2021年度	2022年度	
				対前年度増減
経常利益(連結)	349億円	293億円	97億円	△195億円
親会社に帰属する当期純剰余	214億円	196億円	115億円	△81億円

4. 財務の状況

- ◆ ソルベンシー・マージン比率は、海外金利の上昇等により有価証券の含み益が減少したため、連結では979.3%と前年度末に比べ2.9ポイント低下し、朝日生命単体では933.0%と前年度末に比べ21.9ポイント低下しました。
- ◆ 実質純資産額(単体)は、内外金利の上昇等により有価証券の含み益が減少したことにより、8,284億円と前年度末に比べ2,260億円減少しました。

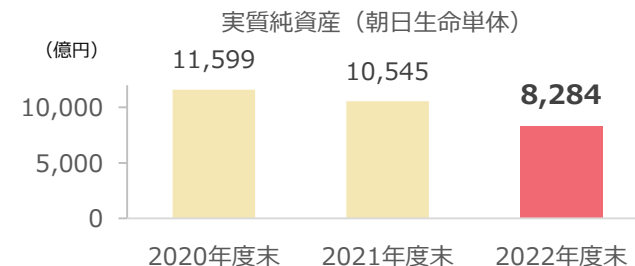
ソルベンシー・マージン比率の状況

区分	2020年度末	2021年度末	2022年度末	
			対前年度末増減	
ソルベンシー・マージン比率 (連結)	992.4%	982.2%	979.3%	△2.9ポイント
ソルベンシー・マージン比率 (朝日生命単体)	972.0%	954.9%	933.0%	△21.9ポイント



実質純資産額の状況

区分	2020年度末	2021年度末	2022年度末	
			対前年度末増減	
実質純資産額(朝日生命単体)	11,599億円	10,545億円	8,284億円	△2,260億円



<参考>有価証券の含み損益の状況【一般勘定】(市場価格のない株式等および組合等を除く)

区分	2020年度末	2021年度末	2022年度末	
			対前年度末増減	
有価証券全体(朝日生命単体)	5,358億円	3,858億円	1,988億円	△1,870億円
うち 国内株式	2,279億円	2,463億円	2,586億円	+122億円
うち 国内債券	2,373億円	1,342億円	23億円	△1,319億円
うち 外国証券	625億円	19億円	△625億円	△645億円
うち その他の証券	56億円	13億円	△15億円	△29億円

【参考】中期経営計画の進捗状況

中期経営計画「Advance ～The road to 2030～」における経営戦略目標の進捗

◆ 中期経営計画の2年目である2022年度における経営戦略目標の各項目実績については、2023年度目標に向けて着実に進捗しています。

経営戦略目標の進捗状況

	2022年度末の状況	2023年度目標
グループお客様数	277.5万名 (前年度末差 + 13.4万名)	280万名
グループ保障性商品の 新契約年換算保険料	337億円 (前年比126.2%)	350億円
グループ介護保険新契約件数	11.1万件 (前年比95.1%)	11.7万件
グループ保障性商品の 保有契約年換算保険料	3,203億円 (前年度末差 + 104億円)	3,300億円

※保障性商品：貯蓄性商品を除く、死亡保障および医療保障・介護保障・代理店で販売している無配当団体医療保険等の第三分野の合計です。

※グループ：朝日生命となないろ生命

【参考】新型コロナウイルス感染症に関するお支払状況について

- ◆新型コロナウイルス感染症による死亡保険金等は、862件/27.6億円と、前年度から増加しました。
- ◆同じく入院給付金等は、214,590件/243.2億円と、前年度から増加しました。

新型コロナウイルス感染症による保険金・給付金のお支払状況

	2022年度	(ご参考) 2021年度
死亡保険金等	862件 27.6億円	400件 16.1億円

	2022年度	(ご参考) 2021年度
入院給付金等	214,590件 243.2億円	26,334件 32.2億円
うち みなし入院 によるもの	210,610件 240.0億円	23,713件 29.0億円